

明石要一氏の著「教えられること 教えられないこと」を拝読しています。

明石氏は、学校改革の視点として、10の項を立てて述べられています。

- 1 「当番活動」から「係り活動」へ
- 2 「業間体育」から「業間休み」へ
- 3 「組織づくり」から「学級文化」へ
- 4 「ルール」「マナー」から「モラル」へ
- 5 「優等生」から「ガキ大将」へ
- 6 「いじめ」をなくし「けんか」を
- 7 「怒鳴る」人から「叱る」人へ
- 8 「えこひいき」をなくし「ひいき」を
- 9 「迷信」を捨て「言い伝え」を
- 10 「間食」をなくし「お八つ」を

A I時代にこそ必要な、温故知新の教育論を展開されています。コロナ禍を生きている私たちにとって、見失ってはいけないことを分かりやすく話されています。

氏は、モラルを漢方薬ととらえ、じわじわ効いてくるとおっしゃっています。

私の学校経営の柱「道徳性の高揚」と合致するところがあって、素直に嬉しいです。